



● 別府

観光情報は、こちら!

社団法人別府市観光協会
電話0977-24-2828
<http://www.beppu-navi.jp/>

別府市観光課
電話0977-21-1128
<http://www.city.beppu.oita.jp/02kankou/index.html>

船舶代理店

グリーン SHIPPING 大分支店
電話097-521-3015

別府 ポートガイド

Beppu Port Guide



別府の湯けむり

別府は、大分県の東海岸のほぼ中央部に位置し、背後の鶴見岳からなだらかに波静かな別府湾に続く扇状地です。この扇状地のいたる所から温泉が湧き、そこを中心に市街地が形成されています。

湧出量は毎分8万3千リットルで日本一、世界でもアメリカのイエローストーンに次ぐ第2位です。イエローストーンは温泉地ではありませんので、温泉地としては世界一と言えます。

源泉数は約2,300箇所です。泉質数についても地球上で11種類の泉質がありますが、そのうちの10種類が別府にあり、日本一です。湧出量、源泉数、泉質数の三点において別府の温泉は、「日本一の温泉地」と位置付けられています。

別府は国際化を推進する観光温泉リゾート地です。別府港の大型船を迎え入れる埠頭は、市への海の玄関口となっています。港は大分県内の観光地、由布院の金鱗湖、大分市の高崎山自然動物園。さらに、日出町のハーモニーランド、数多くの寺社

仏閣が点在する国東半島や、九州の温泉地、日本最大級のカルデラを誇る阿蘇山など、観光名所へのアクセスに大変便利です。

また、別府は国際色豊かな土地柄です。市内には約4000人の留学生が勉学に励んでいます。留学生が暮らす日本で有数の、異文化あふれる国際交流都市としても成長を続けています。

外国客船が別府に寄港した際は、留学生に通訳や案内サポーターとして協力をしてもらうなど、客船の寄港時には留学生も活躍しています。

船が寄港できる港は2カ所あります。第3埠頭は、大人数の旅客を受け入れ、カーフェリーターミナルが併設されています。第4埠頭は2011年3月に別府港として初の客船専用の港として供用を開始し、現在、14万トン級の大型客船の寄港ができるよう係留施設、受入施設を整備しました。別府への寄港時には、客船から別府の扇山や鶴見岳が望め、時には、いたるところから立ち上る湯けむりを眺められます。

Beppu

別府

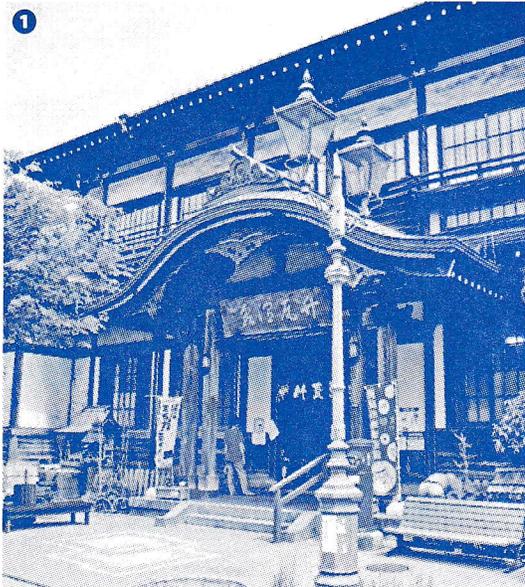
街歩きマップ

別府の見どころ

- ① 別府八湯
- ② 別府地獄めぐり
- ③ 地獄蒸し工房鉄輪
- ④ 別府ロープウェイ
- ⑤ 湯けむり展望台
- ⑥ 十文字原展望台
- ⑦ 志高湖



※上記の地図は簡略化したものです。目安としてご使用ください。



1 別府八湯

別府八湯とは市内8つの代表的温泉地(別府・浜脇・観海寺・明礬・鉄輪・柴石・亀川・堀田)の総称。これらはもともと独立した温泉場として栄え、古いものは8世紀初めに遡る温泉もあります。8つの温泉地は市内全域に点在しています。同じ市内でも泉質が異なり、風景も温泉地ごとに趣があります。温泉の入浴形態もさまざまなので、一度にいろいろな温泉を満喫することができます。写真の『竹瓦温泉』は別府を代表する温泉地にあり、街の中心部に位置しています。繁華街にありながらも狭い路地がひしめきあい、昔ながらの風情が残る魅力的なエリアです。

2 別府地獄めぐり

50m~300mの地底から噴き出る噴気、熱泥、熱湯の様子を地獄と言います。別府ならではの体験スポットで、地球のエネルギーを五感で体感できます。1200年前の鶴見岳の爆発で出来たとされ、1日に150万リットルのお湯が沸き、摂氏98度もあるにもかかわらず、涼しげなコバルトブルーが

映える「海地獄」。広大な池の中で真っ赤な粘土が煮えたぎり、噴気まで赤色に染まる日本最古の地獄といわれる「血の池地獄」。周期的に約20mも大量の熱湯を噴き上げる「龍巻地獄」など、珍しいものばかりです。

3 地獄蒸し工房鉄輪

別府市鉄輪温泉地区は、古くから温泉湯治場として栄えてきました。住民の方々に育まれてきた湯けむり景観は、季節や時刻により、さまざまな顔を見せてくれます。「地獄蒸し工房鉄輪」では、約100度で100%地熱エネルギーの温泉噴気を利用した、伝統の「地獄蒸し料理」が体験できます。蒸気で一気に蒸し上げるため、うまみを閉じ込めヘルシーな仕上がりに。食材は施設内で購入でき、野菜や魚介類など好きな材料を選んで、釜で蒸すことができます。隣接する「ポケットパーク」では足湯、足蒸しが無料で楽しめます。

4 別府ロープウェイ

標高503mの高原駅から大型ゴンドラに乗り約10分で、標高1375mの鶴見岳の

山上駅へ行けます。天気に恵まれれば、山上からは別府方面はもとより由布岳、くじゅう連山、中国地方、四国までを一望できます。春は桜(4月上旬~4月下旬)、ミヤマキリシマ(5月中旬~6月上旬)、夏は避暑、秋は紅葉(10月中旬~11月下旬)、冬は霧氷(12月上旬~3月中旬)と四季折々の季節と風景を楽しめます。

5 湯けむり展望台

湯けむり展望台からは、扇山や鶴見岳を一望でき、癒しの空間が広がります。別府の湯けむりは、平成13年3月にNHKが募集した「21世紀に残したい日本の風景」で、富士山に次いで全国第2位に選ばれました。また展望台からの夜景は平成22年7月、「日本夜景遺産」に認定されました。別府の湯けむり景観は、文化財保護法で定められた「重要文化的景観別府の湯けむり・温泉地景観」に選定されました。4月上旬に開催される『扇山火まつり』では、夜空に上がる炎のシルエット写真を撮るために、多くの人々が展望台を訪れます。

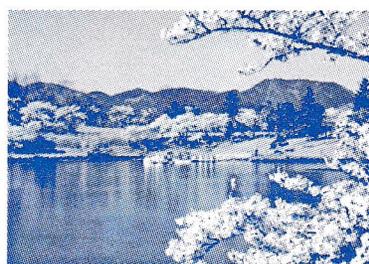
自然に親しむ

6 十文字原展望台



別府市内の北部に位置し、明礬温泉から3kmほど進んだところに広がる高原。別府湾を見下ろす場所には展望台があり、天気が良ければ市街地はもとより大分市、国東半島、遠くは四国まで望むことができます。豊かな自然と素晴らしい景色を堪能できるので、ドライブコースとしても親しまれています。

7 志高湖



志高湖は、標高600mに位置する、湖周2kmの緑に囲まれた山上湖。湖には白鳥や鯉が放たれ、周辺はキャンプ場として利用され、シーズン中には県内外から多くのキャンパーが訪れます。桜や新緑、紅葉など四季を通じて、美しい自然景観を楽しめるので、観光客や市民の憩いの場として多くのグループや家族連れでにぎわいます。

港までの所要時間

別府駅より	■ 車で約10分～15分
別府大学駅より	■ 車で約5～8分 徒歩で約10分
大分駅より	■ 車で約25分
大分空港より	■ 車で約45分 ※大分空港より『大分・別府』行きの空港バスも運行。所要時間約40分～45分

※バス運行会社問合わせ先:電話(097)534-7455(受付時間6:30～21:00 年中無休)大分交通

ターミナル所在地

〒874-0000 大分県別府市北石垣2002(別府国際観光港第4埠頭)

※クレーズ船入港受入事務局(大分県国際観光船誘致促進協議会事務局 別府市観光課 電話0977-21-1128)

別府

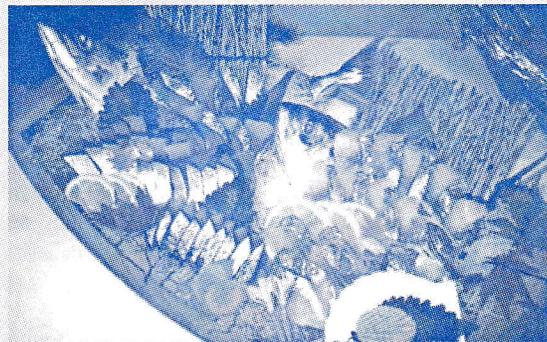
おすすめグルメガイド

別府には豊前海、瀬戸内に面した国東の海、おだやかな別府湾、豊後水道と多彩な海からの幸が届きます。一年を通じて別府湾のチリメンなどが、旅の食卓をにぎやかに彩ります。また、別府には地元の人に愛される食堂や居酒屋もたくさんあり、それぞれのお店が特色ある料理を提供しています。



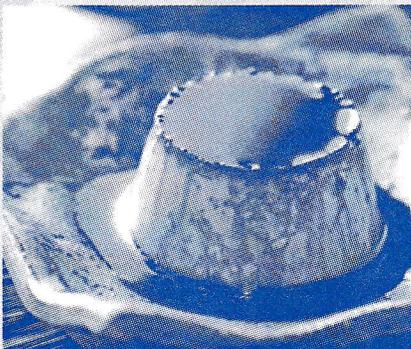
地獄蒸し料理

温泉の高温の蒸気を利用して釜で蒸し上げる、温泉地ならではの料理法です。素材の旨みが凝縮され余分な油を落とすので、美味しくヘルシー。自炊しながら湯治をする「貸間」と呼ばれる宿泊施設でも楽しめますが、最近ではホテルや旅館での地獄蒸し会席などもあります。



関あじ・関さば

豊後水道で、一本釣りによりとれる「関あじ」「関さば」。そのうまさ、歯ごたえのよさから、高級魚として重宝されています。「関あじ」の旬は3月から10月。刺身にして、大分名産「カボス」をかけて食べると味が増します。秋口になると脂ののりがよくなるのが「関さば」。新鮮な刺身は身が引き締まり、味と歯ごたえは抜群です。



別府プリン

人気の高いご当地スイーツで、食べ歩きマップができるほどです。特に濃厚な硫黄の香りが漂い、地獄の噴気の上がる明礬地区や、石畳の道に旅館が軒を連ねる鉄輪地区では、高温の温泉噴気で蒸し上げたプリンが食べられます。そのほか別府市内では、カラメル之苦さが癖になる濃厚なプリンから、小豆などをトッピングしたもの、コラーゲン入りのものまで、いろいろな種類のプリンを味わうことができます。